

経営比較分析表（令和3年度決算）

兵庫県伊丹市 伊丹病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	31	対象	ド透I未訓ガ	救臨が地
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
202,978	29,069	非該当	非該当	7:1

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
414	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	414
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
401	-	401

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【】	令和3年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

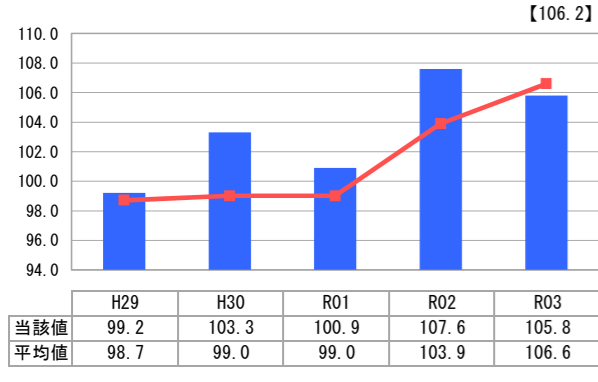
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

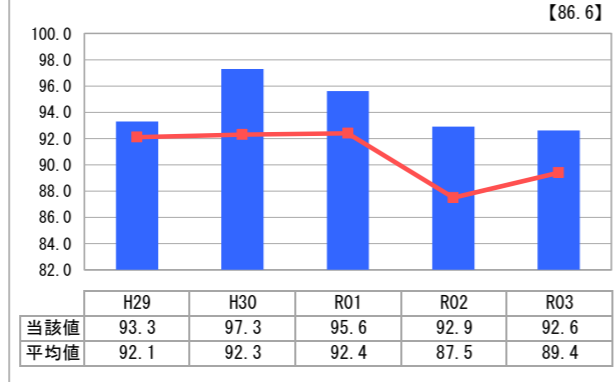
再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

1. 経営の健全性・効率性

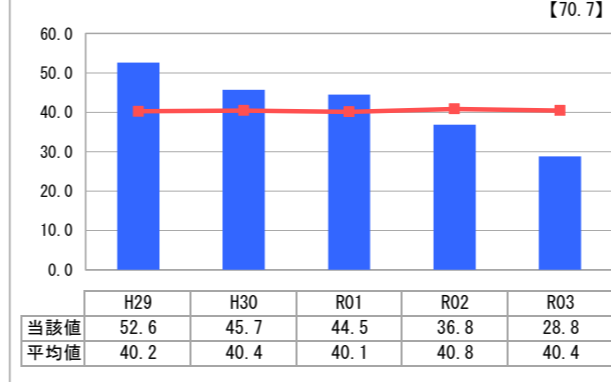
① 経常収支比率(%)



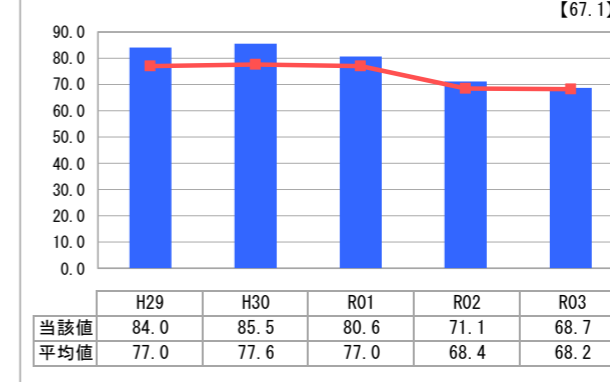
② 医業収支比率(%)



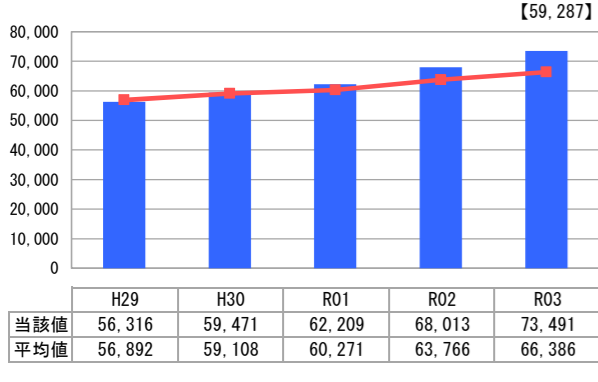
③ 累積欠損比率(%)



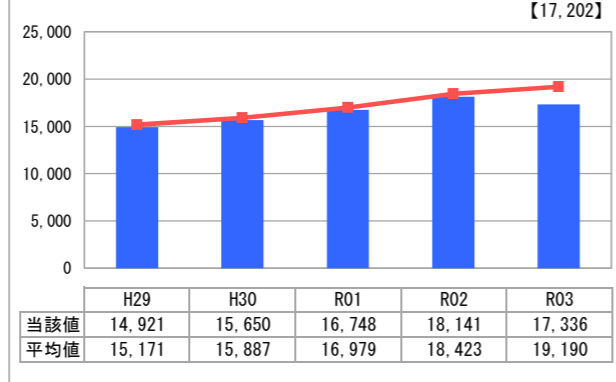
④ 病床利用率(%)



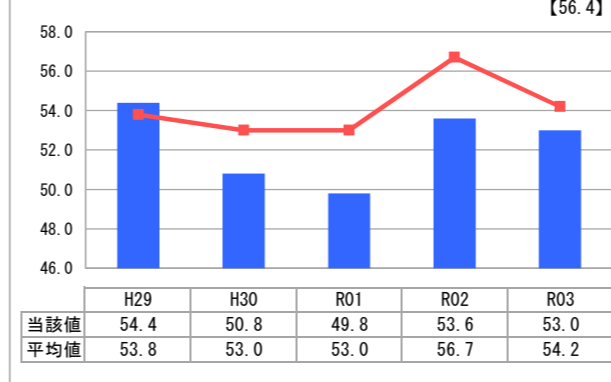
⑤ 入院患者1人1日当たり収益(円)



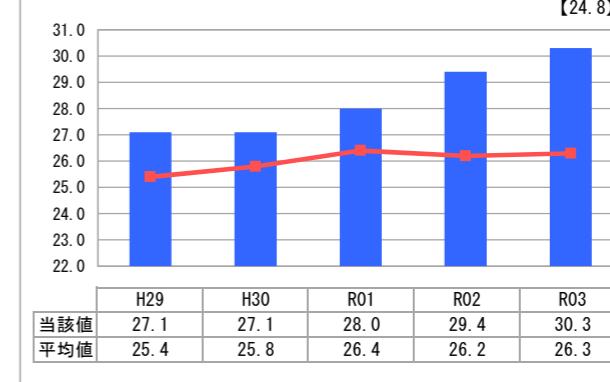
⑥ 外来患者1人1日当たり収益(円)



⑦ 職員給与費対医業収益比率(%)

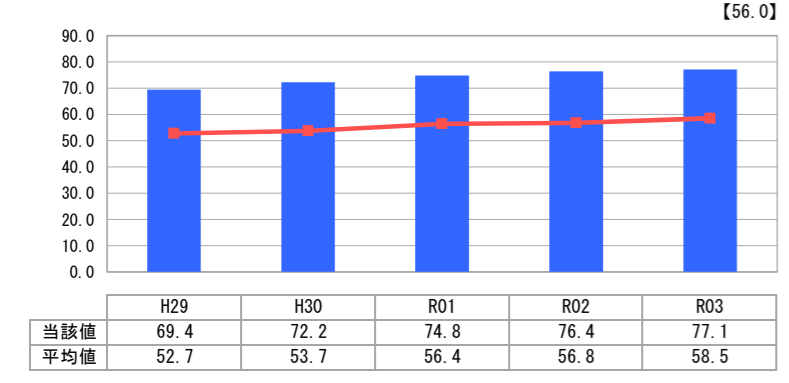


⑧ 材料費対医業収益比率(%)

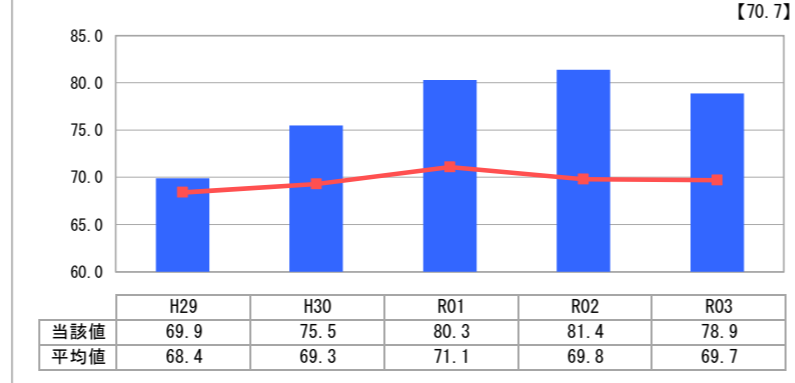


2. 老朽化の状況

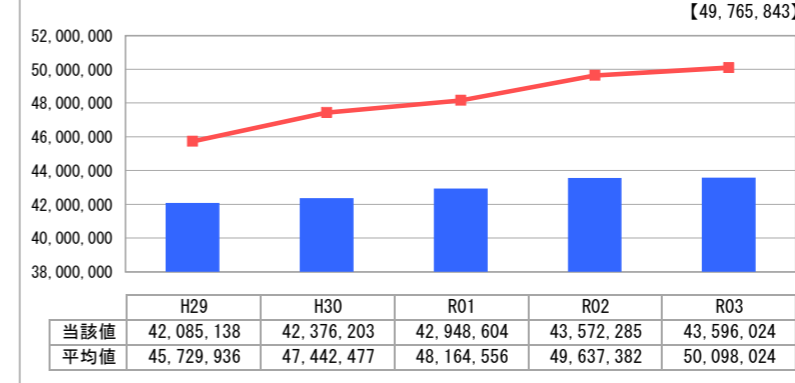
① 有形固定資産減価償却率(%)



② 器械備品減価償却率(%)



③ 1床当たり有形固定資産(円)



I 地域において担っている役割

市立伊丹病院は公立病院として地域に必要とされる急性期医療の提供に努め、市民の生命と健康を守ってきた。地域医療支援病院として地域の診療所からの紹介患者を受け入れると共に、救急病院として急性期患者の受け入れを中心に阪神北準圏域における伊丹市内の救急車の受け入れについて基幹的役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により入院患者数が減少したものの、1人1日当たりの収益が増加したこと、及び外来患者数が回復したことに伴い、医業収益が上がったため、医業収支比率は僅かに回復した。また、国・県からの補助もあり、純利益を計上することができ、累積欠損金が減少した。収支の改善に向けて、引き続き、地域の医療機関との連携を強化し、患者数の増加を図ると共に、安全で効率的な診療に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

当院の建物は昭和58年に建てられたもので、特に設備の老朽化が著しく進んでいる。そのため年次計画に基づく計画保全を実施しているが、経年劣化により想定外の故障・漏水等が発生し、応急的な修繕を行い、病院機能を維持している。また、高度急性期病床や回復期病床の不足などの地域医療の現状があることから、今後は地域医療構想における役割を果たすため、地域の基幹病院との統合再編を行い、統合再編基幹病院として建て替えを行っていくことになっており、実施設計を基に今後も計画的に整備を進めていく。

全体総括

施設の老朽化と医療機能の向上に対応するため、令和元年度に策定された「市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再編に係る基本方針」に基づき、令和8年度中の開院を目指し、統合再編基幹病院の整備事業を進めている。今後も計画的に整備事業を進めるとともに、安定的・継続的に地域完結型医療を推進し、安全で質の高い医療提供体制を構築していくため、地域の医療機関と密に連携を図り、診療機能の充実と経営の健全化に努めていく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。